

山麓もよう

交流の家周辺の体験情報をご紹介します！

【ぐんま昆虫の森】 <http://www.giw.pref.gunma.jp/>

ぐんま昆虫の森は、里山や棚田、畑など様々な環境が再現され、子どもたちが自ら小さな生き物を探したり、観察したりできる体験型施設です。

また昆虫観察館では映像、展示、書籍だけでなく様々な体験型プログラムを通して、昆虫の生態を学習することができます。



左奥は、昆虫の森のシンボル「昆虫観察館」。

昆虫の森の「里山」は45ヘクタールもの広さがあり、どんなところにどんな昆虫がいるのかを探し、自らの足で歩く、目で見つける、耳で聞く、手で触れるといった体験ができます。

プログラムの料金や開催日等の詳細については、昆虫の森までお問い合わせください。（文：大澤）

つぶやき

きのう、ご近所の粕川(不動大滝と忠治の岩屋)と大猿川(滝がいくつ)を歩きました。清流と森、赤城って最高ですね。(内田)

休みの日はフィールド調査に充てています。徐々に行動範囲も広がって体重も減ってきました。赤城ぐらしはとってもヘルシー?!(高瀬)

自然の中で朝の朝の集い 青空こたなび 日の丸を仰ぎ朝の歌 光のエネルギーが身体に染み込んでくる。キャンプっていいなと思。(小野里)

あつという間にもう6月。今年こそは体重減らすぞ...と言ったもののまだ現状維持..坂道を歩いて減量に励みます。(阿佐美)

大阪に行ってきました。終電後も賑わう心斎橋に「都会は違うわ~」なんて思ったり。群馬に染まっちゃったかな~。(大澤)

夏ですね..汗かきな自分にとってはきつい時期です。溶けない氷で出来た服でもないかな..あつ冗談です。(中屋)

この時期でも気温が高い日が多く驚きです。夏バテしないよう、日々の生活習慣には気をつけたいところですね。(田村)

係が替わり毎日パソコンとにらめっこ。目が痛いので自腹で15から17インチへ。来週には17ワイドの予定。来年には52インチか..。(山崎)

もうすぐ梅雨がやってきます。雨降りには嫌いではありません。しっとりと濡れている風景が好きだからです。(坂田)

愛車コロボのエンジンが積み変わり無事戻ってきました。軽トラ通勤も惜しまれながら終了しました。(柴崎)

まもなく実施予定の「あかぎ ぐんまキャンプ」内々のスローガンは、「あかぎ戦隊！あそぶんじゃ~!!」(井上)

この頃よく赤城山からきれいな鳥のさえずりが聞こえてくるので、つい口笛で返してしまう 今日この頃です。(廣澤)

近年、ツバメの数が少なくなっているとのニュースをみました。人家の構造が農作業に適さなくなってきたとのこと。(鳥崎)

今年は、なんとなく、少し、趣味のフライフィッシングにいけそうな気がします。それは群馬でいい釣り場を見つけたから。どこかは秘密です。(桜井)

バラの枝を切っていたら指に棘を刺してしまいました。消毒して絆創膏を貼りました。持ってて良かった消毒薬と絆創膏!!(鈴木)

ミクロネシア自然体験交流事業で副担当やりました。事業の様子はトピックスに上げてますので皆さん見てください。(秋山)

鍋割山って星の王子さまのウワバミに似てるって誰かに言ってみようけど聞けない。共感してくれる方、声かけてください!!(川崎)

通勤途中に見る棚田や新緑がとてもきれいです。たまには、違うルートで通うのも良いですね。(星野)

今年も、ゴーヤを植えました(去年の倍)。今年は、緑のカーテンになるかな?トマト・キュウリも植えました。(神山)

PAの研修会でハイエレメントにチャレンジしてきました。高いところのドキドキ感がやみつきに...。(根岸)

梅雨明けも間近になり、いよいよ夏の到来です。木々の合間を吹き抜ける風の涼しさは別物なものです。そんな情景を赤城でしてみませんか?(佐藤)

5月の燦めく太陽を照り返す君の黒髪、新緑の若さをまとった優しい風に涼しそうに微笑む君。梅雨の雨にも、...。(新井)

5月21日。2回目の宿直。指で作ったピンホール。輝く三ヶ月?一生の宝物ができました。(小川)

今号のつぶやき掲載順は、「通勤時間順」。最短の2分から、最長は1時間10分の深谷市。都会ではこれが普通ですね(^_^)

風と太陽のくにからの通信誌

カラゴロリ

6-7
2012



midogi

「再生するいのち」

赤城山麓は松枯れの被害が大きく、森がどんどん減少しています。しかし、赤城の森を歩くと、足元にどんぐりの種から芽を出した実生がたくさん育っているのに気づきます。森のいのちよ、姿をかえて出てきておくれ！

リレーcolumn すたっぷの目

『自然の中で豊かな体験を』

文：坂田 昇 (BAN)
【さかた のぼる】



安芸の宮島の鳥居を背景に、本職は歴史の先生です。今は、事業系担当のまも役です。

赤城青少年交流の家に栃木県教育委員会から派遣され、2年と2ヶ月になりました。春と秋の赤城はたいへん素晴らしい風景を私たちに見せてくれます。特に秋の赤城は、燃えるような高尾紅葉やナナカマドなどの紅葉が素晴らしいです。皆さんも秋に一度訪れてみてはいかがでしょうか。

私の担当するプログラムは、登山やうどん打ち、あかぎアドベンチャープログラム(AAP)です。若い頃から登山が好きでしたが、就職すると土日は部活動で時間が取れず(ちなみにバスケットボール)、ほとんど登山に行けませんでした。それが赤城では、仕事で登山ができるのでたいへんうれしいです。これまで黒檜山や地蔵岳、鍋割山など合計20回登りました。

このような自然の中で生活しているので視力も少し回復しました。毎日森林浴をしているようなものです。マイナスイオンを浴びると不思議と気分が落ち着いてきます。人間の祖先が森に抱かれて生活していたから、きっと遺伝子の中に残っているのでしょうね。

次号は、
8月9日発行予定!

風のおと

プログラムづくりから人づくりへ

朝日新聞天声人語3月28日より引用します。

「勝海舟は、「海へ小便したって海の水は小便にはなるまい」と、人間の素朴な営みなら天地を損なうことはないことを例えた。だが、文明が発達すれば話が違う。勝は、足尾銅山鉱毒事件を「文明の大仕掛けで山を掘りながら、その他の仕掛けはこれに伴わぬ...もとが間違っている」と喝破した。」

交流の家でも、足尾銅山を見学する団体があります。このようなことを、感じてもらえるならば、良い環境教育になると思うのです。

このように、地域の資源をもっと活用させていただきたいと考えてい

ます。それにしても、世の中は、人間の身の丈を超えた文明を手に入れてしまい、その制御ができなくなっているのではないのでしょうか。そのことを、真摯に受け止められる人でありたいです。そして受け止めた後、行動できる人でありたいです。そんな人づくりがしたいです。

所長 桜井義雄

国立赤城青少年交流の家 <http://akagi.niye.go.jp>



TEL:027-289-7224 (9:00~18:00)

FAX:027-289-7226

赤城 カラゴロリ

検索

〒371-0101 群馬県前橋市富士見町赤城山27

E-mail: akagi@niye.go.jp

【タイトルの「カラゴロリ」は、赤城名物の「からっ風」と雷の「ゴロゴロ」に由来します】

5/12(土)~13(日)実施
自然体験活動指導者養成研修フォローアップ講習会

より現場に即した指導者を目指して～指導実習でトレーニングを積む～

5月12日(土)～13日(月)の1泊2日の日程で、教育事業「自然体験活動指導者養成研修フォローアップ講習会」を実施しました。

この事業は、体験活動推進プロジェクト「自然体験活動指導者養成研修」の修了者を対象に、「小学校の長期自然体験活動」の目的・目標にあったプログラム全体のデザイン、学校がプログラムに組み入れることが多い登山や野外炊事等のプログラムの指導の方法、小学校の現況を知る等、実習中心で指導力の向上を図ることを目的に行いました。関東近県から12名の参加がありました。

講習では、指導対象を小学5年生と想定し、職場や指導の現場において、「最近の子どもたちに対し問題と感じていること、その原因を整理しておくこと」を事前課題として「野外炊事」、「室内のプログラム」、「キャンプカウンセリング」、「登山」など



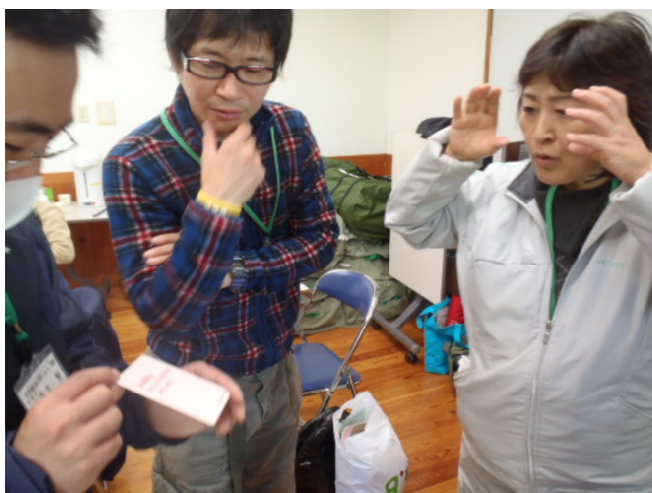
まずは、ひろ～い芝生フィールドで心も身体もリラックス。
=5月12日、交流の家多目的フィールドにて

を行いました。受講者はそれぞれ指導者の立場や子どもの立場に立ちながら課題等を出し合い、課題をひとつひとつ解決していきました。どの実習も、「プログラム指導のポイントを事前に検討し、指導実習を行い、ふり返る」というスタイルで行いました。

余談ですが、5月初旬の赤城はまだまだ冷え込むので、夜は、オプションとして近くにある温泉「見晴らしの湯」に行きました。(とても好評でした。(^^))

参加した受講者からは、「様々な体験活動に取り組み、講師や他の受講者とのネットワークなどができとても充実した研修でした」という声もありました。

今年度試行的に実施している小学校への活動支援に、この講習会の参加者の方が、補助スタッフとして活躍しています(活動だけでなく、生活面のサポートにおいても)。こういった方々に関わっていただき、先生方の負担軽減や、活動の支援につながればと思っています。(文：廣澤)



参加者同士も積極的にコミュニケーションをとり、学び合いながら行われました。=5月12日、交流の家センター棟にて

プログラム 紹介!

【クップ】

クップはスウェーデン生まれのスポーツです。クップはスウェーデン語で「薪」という意味です。

両チーム6本ずつの丸棒(カストピンナ)を投げて、相手コートに並ぶ5本の角棒(クップ)を倒します。

クップを5本倒せたら、センターにあるキングを倒せます。どちらが早くキングを倒すことができるか争うゲームです。1チーム6名程度(多少の変動はOK)で、2チームが対戦型で行います。小さな子どもからお年寄りまで、おしゃべりしながら誰とでも楽しく遊べるのが特徴です。

赤城には、クップが6セットあります。多目的フィールドの芝生の上で楽しくクップもいいですよ。(文：高瀬)



クップとキングのクップ(写真提供: 日本レクリエーション協会)



赤城青少年交流の家で活躍する、非常勤講師やボランティアの方をご紹介します

この人に会いたい

赤城青少年交流の家 非常勤講師
けんもち まさのぶ
剣持 雅信さん(ぐんま山森自然楽校代表)

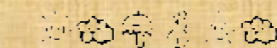


群馬の子どもたちを対象にした自然体験、環境教育を展開している剣持さん。「ぐんま山森自然楽校」の代表をされています。交流の家では、ネイチャーゲームなどのアクティビティの講師だけでなく、指導者養成研修の講師や、総合学習・環境学習における森づくりのプログラムなどもされています。「自然のことなら何でも来い!」という方です。子どもたちの自然体験が少なく、外(自然の中)で遊ぶ姿が見えなくなって、「これではいけない」と思ったことが、自然学校の設立につながっているそうです。山森自然楽校のホームページではたくさん「活動報告」が素敵な写真とともに、紹介されています。

剣持さん自身、少年の心をもったような方ですが、何よりのパワーの源は、子どもの心が表れる「自然体な笑顔」だそうです。里山、裏山、川原、森の中...で子どもたちが集まって遊べる場所作りが、これからの夢であるそうです。ちょっと前まで、多くの日本人が持っていた原風景ではないでしょうか。このような方が子どもたちを取り巻く環境にいることを、心強く感じるとともに、現代を生きる子らに、たくさん原風景をプレゼントしてほしいと思います。(文：柴崎)

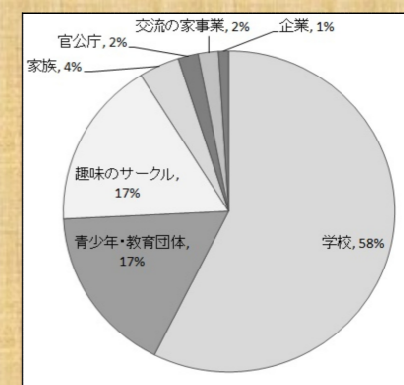
ぐんま山森自然楽校ホームページ <http://yamamorigunma.com/>

利用のようす(5月)



5月の利用者数
...18,614人、
163団体

利用団体
種類別の割合



みなさんの 声



利用にあたりよくある質問

Q. 発送した荷物は預かってもらえますか?

以下の注意点を守って荷物を発送してください。

送る前に必ずお電話ください!

受渡時刻を指定して、送り主からご本人様に直接受け渡しできるように手配してください。(それが難しい場合、荷物の一時預かりもできますが、万が一トラブルが発生しても責任は負いかねます。また貴重品や傷みやすい物の発送はご遠慮ください。)

宛名には『国立赤城青少年交流の家 団体名、ご利用日、受取り手のお名前、その方の携帯番号』と、不明な荷物にならないよう詳細まで明記してください。

Q. これからの暑い季節、気をつけることはありますか?

スズメバチが10月まで活動し続けます。見かけても騒がないように!そして速やかに職員までお知らせください。

また、熱中症も要注意です。必要な水分塩分を摂ることと、無理のない計画を立ててください。

7月に入ると雷や夕立が増えますので、当日の天気予報と空模様にご注意しながら活動してください。



アンケートより

「食事がどんどん美味しくなっているのが満足です。」

ありがとうございます。食事は、みなさまの研修生活を支える大事なものであるため、職員と食堂スタッフで構成された食堂委員会が、アンケートをもとにメニューや提供の仕方を検討しております。

小さなお子さんから大人までが同じメニューなので、すべての要望に応えることは難しいかもしれませんが、「あかぎのごはんはおいしい」、「きてよかった」と言われるように、今後も、安心安全で、おいしく、栄養バランスの取れた食事メニューを提供していきます。

最後に朝食のオススメを紹介します。おかゆに漬け物とラー油とポン酢を入れてできる「あかぎがゆ」。ちょっと大人向けかもしれませんが、とてもおいしいのです。利用の際は、是非お試しあれ

これからの動き

下記の事業の詳細はこちらまでお問合せください⇒TEL027-289-7224(赤城青少年交流の家)

7/21~22
【あかぎ ぐんぐん
キャンプ】
1泊2日
地域の子どもたち
を対象にしたキャン
プです。仲間づくり、
外遊びの楽しさを
味わうことが目的
です。
対象:小学3~6
年生

8/1~3
【教員免許状更新講
習】2泊3日
自然環境や人間関係
を構築するためのプ
ログラム体験を通じ
て、免許状更新ととも
に、先生方のネットワ
ークづくりや体験活
動を支援するプログ
ラムです。
対象:H24に免許
状更新となる先生

8/17~23
【やまなみチャレンジ
キャンプ】6泊7日
赤城山麓を起点に、
チームで100k踏破を
目指す、移動キャン
プです。川や滝、水
源、山の頂上など、
赤城山ならではのフ
ィールドを冒険しま
す。
対象:小学4年生
~中学生

8/20~21
【あかぎアドベンチャー
プログラム体験会】
1泊2日
あかぎアドベンチャー
プログラムの体験を通
じ、プログラムのこと
を理解いただき、実
際の体験活動の組み
立ての参考にしま
うことを目的としま
す。
対象:あかぎアド
ベンチャープログラム
に興味のある指導
者

9/8~9
【環境教育入門講座】
1泊2日
実際の教育現場で
活躍されている方
を対象に、環境教育
の実践を見据えた入
門プログラムです。
活動の体験と講義
を織り交ぜながら
行います。対象:
学校の先生、大
学生

9/22, 23
【あかぎサンサンか
がやきキャンプ】
各日帰り
障がいのある子
どもたちとの共同
生活を通して、お
互いが助け合う心
を育むとともに、
同年代の子ども
が共に学び育つ
きっかけを作る
ことを目的とし
ています。対象:
小学3年生以上